

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

1 基本方針

入居者の尊厳を守り、安心して楽しく生活できる環境と良質なサービスの提供に努める。
職員の人材育成に努め、経営意識を持って、よりよいサービスが提供出来るよう努める。
共生社会の一翼を担う地域福祉の推進と、信頼される施設作りを目指す。

2 今年度重点事業目標

- (1) 全室個室ユニット型施設の特徴を活かした安定的経営
 - ア 新型コロナウイルス感染症等の対策の予防徹底、身体拘束・虐待の廃止、事故発生防止等に取り組み、安全・安心なサービス提供に努める。
 - イ 業務見直しや経費削減に努め、経営意識を持った効率的運営を目指す。
 - ウ 入居者の健康管理、事故リスクの低減及び迅速な入退所等を進めることより、入所96%、短期入所90%の稼働率を目指す。
 - エ 事業活動に必要な関係法令や諸規程を遵守し、健全な施設運営を目指す。
- (2) チームや多職種連携で安全・安心な福祉サービスの提供
 - ア 職員間のチームワークや全室個室のユニット環境を有効活用した個別ケアに努める。
 - イ 認知症等によりコミュニケーションが難しい入居者の心を理解し、「その人」に寄り添ったケアに努める。
 - ウ ケアプランは、本人・家族のニーズと真摯に向き合い、多職種間連携のもと、PDCA サイクルを実施する。
 - エ 適切な食事形態の提供、口腔ケアの充実、姿勢の調整等で誤嚥性肺炎を予防し、生活リハビリなどの楽しさとなじみのある活動を通して、重度化予防と機能維持に努める。
 - オ 胃ろう注入の入居者や喀痰吸引等医療行為が必要な方に、安全な医療的ケアを提供する。
 - カ コロナ禍でも家族や職員間の連携を密にし、その人らしい看取り期のケアが提供出来るよう努める。
 - キ 新型コロナウイルス等の感染症や大規模災害が発生した場合でも、入居者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう作成した業務継続計画(BCP)を実効性のあるものとするよう、研修や訓練を実施する。
- (3) 組織力強化のための人材確保、人材育成、離職予防
 - ア ホームページ、広報誌、人材バンク、個別ネットワーク等を活用し人材確保に努める。
 - イ オンライン研修を導入し職種、階層別の研修を受講し、知識・技術の習得と職員の資質向上に努める。
 - ウ 職種・階層別の研修や資格取得の推進を行い、入居者支援のスキルアップを目指す。
- (4) コロナ禍での家族交流と地域福祉の推進
 - ア 家族との交流は、間接面会・WEB面会・定期的な季節のたより等で行う。
 - イ 居宅介護支援事業は、地域と連携を図り、地域で在宅生活を支えるという視点で支援する。
 - ウ 短期入所事業は感染予防対策を徹底し、在宅生活支援と待機者支援に努める。
 - エ コロナ収束後はボランティア等地域との交流を再開し、共生社会の一端が担えるよう努める。
- (5) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実
 - ア 福祉用具、福祉機器等を積極的に導入し、介護の負担軽減と入居者の安全・安心な環境作りに努める。
 - イ 子育て、家族介護の支援など、ワークライフバランスを意識した働きやすい職場作りに努める。
 - ウ ハラスメントアンケート、ストレスチェックを行いメンタルヘルス対策を推進し、職員が相談しやすい環境作りに努める。